

# News Letter

公益財団法人遺伝学普及会



## contents

- ①業務執行理事のひとこと  
(公財) 遺伝学普及会維持会員募集
- ②トピックス  
「夏休みこども遺伝学講座」  
「きゅんです！サイエンス」  
「遺伝チャン」
- ③予定  
「寺deサイエンス」第6回  
「遺伝学講座・みしま」  
雑誌「遺伝」
- ④公益財団法人遺伝学普及会の概要  
沿革、目的、維持会員、役員紹介

## ～業務執行理事のひとこと～



業務執行理事：城石俊彦

2019年4月、それまで40年以上もお世話になった国立遺伝学研究所から、つくば市にある理化学研究所バイオリソース研究センター(BRC)に移りました。BRCは、生命科学の研究材料を整備・提供するバイオリソース事業と関連研究を行っています。バイオリソースが研究の基礎であるように、遺伝学はすべての生命科学の土台となる学問です。基礎科学として重要であるばかりではなく、健康・医療や環境・農業など、私達の日常生活にも深くかかわっています。このように重要で面白い遺伝学について皆さんに広く知ってもらうために、遺伝学普及会の役割はますます大きくなって行くと思います。



業務執行理事：斎藤成也

木村資生博士は、1924年11月13日のお生まれである。このため、来年2024年は、木村博士の生誕百周年となる。国立遺伝学研究所ではなんらかの行事をされるのだろうが、わが遺伝学普及会でも、なんらかの祝賀行事をするべきだろう。

使うことができる予算の規模にもよるだろうが、たとえば国際シンポジウムを開催することが考えられる。実現すれば、集団遺伝学や分子進化学を研究している内外の著名な研究者を招聘し、三島市内あるいは都内でシンポジウムを開催するということになるだろう。

中立進化論者として、また木村資生博士・太田朋子博士を継いで3人目の国立遺伝学研究所集団遺伝研究部門の教授になったものとして、このようなシンポジウムを開くことができれば、望外の喜びである。

## (公財) 遺伝学普及会維持会員募集

本財団は、生命科学の基礎となる遺伝学の先導的研究と応用に関する総合的研究を支援するとともに、広く社会への研究成果の啓蒙と普及や次代を担う人材の育成のための助成事業活動を行っております。これらの事業を援助していただくために、団体又は個人に維持会員をお願いしております。

維持会員の会費は、次のとおりです。

維持会員会費(年額) 団体・・・50,000円(何口でも)

個人・・・5,000円(何口でも)

維持会員の皆様には、

- ①本財団主催、後援の講演会等の行事のご案内
  - ②雑誌「遺伝」(隔月発行)の配布
  - ③普及会News Letterのメール配信(年2回程度)
  - ④サイエンスカフェへの優先登録などを行っております。
- どうぞお気軽にお問合せください。

<お問合せ先>

公益財団法人遺伝学普及会事務局

〒411-8540 静岡県三島市谷田1111

TEL: 055-981-6857 FAX: 055-981-6877

<https://www.idengaku-fukyukai.info/>

e-mail:genetics@nig.ac.jp

## 「夏休みこども遺伝学講座」 (2023.7.26.Wed)

日時 : 2023年7月26日 (水)  
 場所 : 国立遺伝学研究所 講堂  
 時間 : 9時30分～12時  
 講師 : 佐藤 豊 (国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室 教授)  
 タイトル : 「植物はどうやって成長するの？」

～イネの形ができるところを観察しよう～

4年ぶりに国立遺伝学研究所にて開催されました。お米が成長する過程や、葉っぱの構造を学び、スマホ顕微鏡や実体顕微鏡を用いて実際に観察を行いました。

子ども達は各自持参したスマホやタブレットで写真をたくさん撮りながら観察をしました。身近なお米の細部を観察し、植物の不思議に触れ、貴重な時間を共有することができました。



夏休みこども遺伝学講座  
**植物はどうやって成長するの？**  
 ～イネの形ができるところを観察しよう～  
 とき 令和5年7月26日(水) 9時30分～12時00分  
 ところ 国立遺伝学研究所 講堂 (三島市谷田1111)  
 対象 市内に住む小学4年生から6年生  
 定員 40名(応募多数の場合は抽選)  
 内容 イネを題材にしてルーペや顕微鏡を使って植物が葉や花を作る様子を観察する。  
 持ち物 ルーペ(持っている人)  
 写真撮影できるスマホまたはタブレット (三島市から貸与されているタブレット除く)  
 申込 申込用紙またははがき  
 申込用紙またははがき (1人1枚) に①氏名②フリガナ③通学する小学校④学年⑤郵便番号⑥住所⑦電話番号、「夏休みこども遺伝学講座」と記入し、生涯学習センター4階生涯学習課(〒411-0035三島市大宮町1-8-38)へ  
 【電子申請】  
 三島市ホームページ  
 または右QRコードから電子申請可  
 応募締め切り: 令和5年7月12日(水)必着  
 問合せ先 三島市教育委員会生涯学習課 ☎055-983-0881  
 後援: 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所

当日の様子は「遺伝チャン」内にて公開中です。動画視聴ご希望の方は[こちら](#)から



## きゅんです！サイエンス 絶賛放送中！

FMみしま・かなみ (ボイス・キュー) で放送中の「きゅんです！サイエンス」  
 毎週日曜日12:00～12:30 絶賛放送中です！  
 サイエンスに「きゅん」としていただける時間の提供を目指します♪  
 過去の放送は、you tubeでも聞くことができます。



全国放送は、毎週火曜日26時30分～ (内容はボイスキュー前週の放送分)

PC、タブレット、スマホからもリアルタイムで視聴できますよ！



## 普及会チャンネル「遺伝チャン」随時更新中！

最終講義の動画を、随時追加中です。

- 熊本大学大学院先端科学研究部 谷時雄先生  
「細胞核のRNA分子生物学」
- 九州大学 農学研究院 石野良純先生  
「大腸菌からアーキアへ：分子微生物における40年の視点」

マイリサーチヒストリー：シニア会員レクチャー (2023年日本遺伝学会大会にて) も公開中です。

- ①石野良純 (九州大学農学研究院 名誉教授)  
「大腸菌からアーキアへ：分子微生物学における40年の視点」
- ②権藤洋一 (東海大学医学部・客員教授、大阪大学核物理研究センター 協同研究員)  
「遺伝と遺伝子は違う：化学変異原から放射線まで」

動画視聴ご希望の方は[こちら](#)から





# Upcoming Events

## 「寺deサイエンス」第六回開催 (2023.12.1.Fri)

今年の「寺deサイエンス」も、Zoom参加と現地で参加のハイブリッド開催です。

日時 2023年12月1日(金) 19時00分~21時00分  
 対象 サイエンスに関心にある一般の方  
 500名(Zoom参加)、40名(現地参加)  
 (先着順。維持会員の方は優先されます)  
 参加費 無料(Zoom参加)、1000円(現地参加)  
 要申込 11月30日正午〆切



↑申込みはこちら

- 【第1部】「ゲノムからみた日本人の起源」  
 講演：斎藤成也(国立遺伝学研究所 特任教授)
- 【第2部】「古代人のゲノム解析から見た人類史」  
 講演：神澤秀明(国立科学博物館 人類研究部 研究主幹)

## 「遺伝学講座・みしま」(2024.1.13.Sat) ポスター発表者募集(高校生・大学生・一般)

今年度の「遺伝学講座・みしま」では、自然科学や環境に関する調査研究の発表・情報共有の場として、新たにポスターセッションの時間を設けます！発表参加者を募集中です。

日程 2024年1月13日(土)  
 会場 三島市民文化会館 小ホール ホワイ  
 14:15~15:10(「遺伝学講座・みしま」開催時間内にて)  
 参加資格 三島市及び近隣の高校生、大学生、一般(個人・団体)  
 制作要項 AOサイズ以内1枚(原則日本語)  
 発表タイトル発表者名をポスター上部に記載。  
 概要・成果・実績・今後の展望等ご自由に記載。  
 作成、印刷等に要する費用は発表者負担。  
 参加費 無料  
 申込〆切 12月13日(水)  
 ※発表の採否につきましては、本会の趣旨に照らし審査の上、  
 12/20までにご連絡いたします。  
 申込方法 電子申請、電子申請が難しい場合は、  
 問合せ(genetics@nig.ac.jp)までご連絡ください。



↑電子申請

自然科学・環境に関する調査・研究成果について  
**ポスター発表者募集**

「遺伝学講座・みしま」開催期間中に、自然科学や環境に関する調査研究の発表・情報共有の場として、新たにポスターセッションの時間を設けます。発表参加者を募集中です。

2024年1月13日(土)  
 遺伝学講座・みしま開催時間内: 14:15~15:10  
 三島市民文化会館 小ホール ホワイエ  
 三島市及び近隣の高校生・大学生・一般(個人・団体)

発表1題ごとに1通(発表証明書)を発行します。ポスター制作要項

- 発表ポスターはAOサイズ(縦書き:841mm×1199mm)以内、1枚まで。
- 原則日本語とし、ポスターには発表タイトルと各発表者名をポスター上部に記載したうえで、概要・成果・実績・今後の展望などを自由に記載下さい。
- 作成や印刷、相紙などに要する費用は、全て発表者負担となります。

当日のスケジュール詳細については、右QRコードより市HPをご覧ください。

お申込み  
 申込〆切:12月13日(水)  
 ※発表の採否につきましては、本会の趣旨に照らし審査の上、12月20日(水)までにご連絡いたします。  
 申込方法:右QRコードまたは  
 問い合わせ:genetics@nig.ac.jp まで以下の各事項を電子メールでご送付ください。  
 ①各発表者の氏名(代表者および共同発表者)、所属、役職  
 ②メールアドレス  
 ③発表タイトル、必要事項を入力

問合せ:公益財団法人 遺伝学普及推進財団  
 三島市谷田1111 国立遺伝学研究所内  
 電話:055-981-6857  
 メール:genetics@nig.ac.jp

## 雑誌「遺伝」2023.No6発行

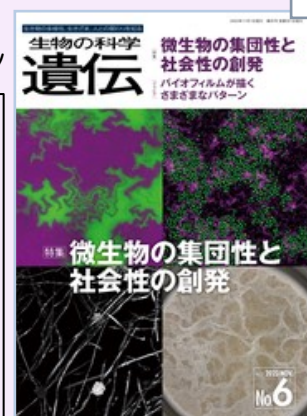
奇数月1日、隔月に刊行されている、生物の科学「遺伝」の、  
 2023年11月発行号 Vol.77 No.7が、11月1日に刊行されます。

- [特集] 微生物の集団性と社会性の創発
- [巻頭グラビア] バイオフィームが描くさまざまなパターン



生物の科学「遺伝」バックナンバー  
 2023年9月発行号 Vol.77 No.5

- [特集] 希少野生動物の生息域外保全  
 -遺伝資源保存で生命を未来につなぐ-



## 沿革の抜粋

昭和22年（1947年）5月23日	国立遺伝学研究所設立の準備母体として（財）遺伝学研究所を設立
昭和25年（1950年）11月10日	（財）遺伝学普及会に改称
平成26年（2014年）4月1日	内閣府の認可を受け、公益財団法人遺伝学普及会となる
平成29年（2017年）4月1日	日本遺伝学会が、（公財）遺伝学普及会の所属団体となる

## 目的（定款の抜粋）

この法人は、目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1） 遺伝学に関する研究の助成
- （2） 遺伝学に関する講演・講習会の実施
- （3） 遺伝学に関する図書・雑誌の編集及び刊行
- （4） 遺伝学に関する教育資料の頒布
- （5） 動植物に関する優良品種の普及
- （6） その他目的を達するために必要な事業

## 維持会員（2023年9月現在）

### 団体会員

株式会社裳華房代表取締役社長  
株式会社トミ-精工代表取締役社長  
日本クリア株式会社代表取締役  
株式会社池田理化代表取締役  
株式会社エヌ・ティー・エス代表取締役  
遠藤科学株式会社取締役社長  
順天堂大学医学部附属静岡病院院長  
三島信用金庫理事長  
三島市市長  
三嶋大社宮司

吉野 和浩  
富永健二郎  
木本 重信  
高橋 秀雄  
吉田 隆  
遠藤 一秀  
佐藤 浩一  
高嶋 正芳  
豊岡 武士  
矢田部盛男

### 個人会員

アインズ税理士法人 会長 石渡 清司  
静岡コンサルタント株式会社  
代表取締役 森崎 祐治  
しげの家 店主 芹沢 茂  
植草学園短期大学名誉教授 漆澤 恭子  
君澤山蓮馨寺 住職 掬池 晃雄  
島田トモミ

## 役員（2023年9月現在）

### 代表理事

五條堀 孝 MaOI機構研究所長,KAUST特別名誉教授  
国立遺伝学研究所名誉教授  
小林 武彦 東京大学 定量生命科学研究所教授

### 業務執行理事

城石 俊彦 理化学研究所  
バイオリソース研究センターセンター長  
斎藤 成也 国立遺伝学研究所特任教授

### 理事

遠藤 隆 京都大学名誉教授  
平田 たつみ 国立遺伝学研究所教授

### 監事

佐藤 清 国立遺伝学研究所元NBRP事務局顧問

### 評議員

山口 建 静岡県立静岡がんセンター  
名誉総長兼理事  
池村 淑道 長浜バイオ大学客員教授（名誉教授）  
・国立遺伝学研究所名誉教授  
勝部 定信 整形外科函南クリニック院長  
菅原 秀明 国立遺伝学研究所名誉教授  
高畑 尚之 総合研究大学院大学元学長・名誉教授  
川内 十郎 静岡新聞社編集局論説委員  
桜井 豊 沼津市民文化センター顧問  
颯田 葉子 総合研究大学院大学教授  
花岡 文雄 国立遺伝学研究所所長  
吉田 隆 株式会社エヌ・ティー・エス代表取締役社長  
岩崎 博史 東京工業大学教授  
稲田 精治 三島信用金庫 特別顧問